

# 紅葉

文部省唱歌

♩ = 92

アキノユフヒニ テルヤマモミヂ  
 たにのながれに りりうくもみぢ  
 コイモウスイモ カズアルナカニ  
 なみにゆられて はなれてよつて  
 マツライロドル カヘテヤーツタハ  
 あかやきいろの いろさまざまに  
 ヤマノフモトノ スーモヤウ  
 みづのうにも おるにしき

一、秋の夕日に 照る山もみぢ

濃いも薄いも かずある中に

松をいろどる 楓やつたは

山のふもとの 裾もやう。

二、谷の流れに 散り浮くもみぢ

波にゆられて 離れてよつて

赤や黄色の いろさまざまに

水の上にも 織るにしき。

# 紅葉

土川 五郎

六〇

この歌の振りは本來は三四年程度です。併し歩法を取りかへて簡易にしました。

一秋の夕……全生手を取りて左上を見つゝ左へ三步最後に連手のまゝ左上にあげ兩踵をあげて左上を見る。

日に……右膝をつき蹲踞し兩手を右下に流し左肩を下げて左下を見る。

照る山紅葉……兩手を左側下方に送り手先をまわしつゝ左下方より上へ上より右下方へ次第にまわしつゝ直立す、顔は手に従つて次第に右下に向く。

こいも……左手をあげ左上を見て左足にて跳ぶ。

うす……右手をあげ右上を見て右足にて跳ぶ。

い……左手を、左足にてとぶ。

も……右手を、右足にてとぶ。

數ある中に……右食指を出し上體をやゝ右に傾け右手を上下しつゝ右に一回轉す。

松をいろどる……偶生蹲踞し右手を以て奇生の出したる右手を取る、奇生は偶生の後ろより八歩偶生のまわりを一回轉して元の位置に復す。

かへてやつたは……奇生蹲踞し偶生は奇生に右手を渡し偶生の前より一まわりして元の位置に歸る。

山の……全生連手し左足一步前に顔と手を上に

あぐ。

ふも……左足一步後ろへ引き蹲踞す。

との……両手を左へ右下を見る、次に両手右へ

左下を見る。

裾模様……両手を頭上に上體を後屈して上を見

る(緩やかに舉手丸くして上を見る)。

二、たにの……直立す。

なが……左足を右足の前に両手を左下に流し顔

は左下を向く。

れ……右足一步右へ両手を右上方にあぐ。

に……左足を右足の前に両手を左下方に流し顔

は左下を見る。

散り浮く紅葉……両手を左右に開き手先きを回

轉しつゝ右にまわり蹲踞す。

波にゆられて……両手を左右に開き掌は下に向

け、フワリ〜と四度に漸次起きて、奇偶生

相對す。

離れて……兩生右手を取り左手は肩の高さに左

方へ流して左足一步左へ右足を左足の後ろに

つく。

よつて……右足一步右へ左足をつく。

あ……奇生蹲踞して拍手一回、偶生は奇生の前

へ一步両手を胸前にとる、掌は下に向く。

かや……奇生拍手一回、偶生は尙一步、両手を

左右に開く。

きいろの……奇生は初めより八回拍手、偶生は

前の如くして奇生のまわりを八歩両手を胸に

次に開き交互に行ひつゝ元の位置に歸る。

いろさまざまに……偶生蹲踞拍手八回……奇生

は前に偶生のなしたる如くす。

水の上にも……右足一步右へ両手を右へ送り次

に次第に微動せしめつゝ左方へ送り顔もこれ

に從ふ。

織る錦……左足を引きて蹲踞し左手を腰に右手

を右側方よりかぶり、左下を見る。